

野坂建設株式会社

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3-6-9
TEL:0120-947-570

このレポートは、エコアクション21環境経営レポート(令和元年度)の
内容も含まれています。

<http://www.nosakakensetsu.co.jp>

このまちのくらしをもっとやさしく、うつくしく

N O S A K A
construction

CSR REPORT 2020

野坂建設株式会社

野坂建設CSRレポート2020

INDEX

[目次]

P1	目次・編集方針
P2	トップメッセージ
P3	会社概要
P4	会社沿革
P5-8	事業案内
P9-10	ウィズコロナのCSR・CSVを考える
P11-12	ビジョン・CSR方針
P13-16	KPI
P17-18	やさしくつくしい住環境を創る
P19-20	やさしくつくしい自然を守る
P21-22	やさしくつくしい繋がりを深める
P23-24	やさしくつくしい職場を創る
P25	マテリアルバランス

EDITORIAL POLICY

[編集方針]

[報告対象組織] 野坂建設株式会社

[報告対象期間] 2019年6月～2020年5月(※一部対象期間外を含む)

[発行日] 2020年4月1日

[参考ガイドライン]

環境報告ガイドライン 2018年版、エコアクション21ガイドライン2017年版、SDGコンパス

[お問い合わせ先] 野坂建設株式会社 / 担当: 渡邊

〒808-0144 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号

TEL: 0120-947-570(フリーダイヤル)

FAX: 093-701-5266

E-Mail: info@nosakakensetsu.co.jp

CSRで未来を拓き社会から求められる企業へ

野坂建設株式会社 / 代表取締役 野坂 輝和

激動の2019年度を振り返って

2019年度を振り返ると、「激動」の一年だったと感じます。そのきっかけとなったのは新型コロナウイルス感染症の拡大です。2020年2月頃から日本国内でも急速に蔓延し、福岡県でも緊急事態宣言が発令され、その危機は本当に身近にありました。感染症対策はスピード感を持って実施していく必要があり、当社でも衛生対策はもちろん、リモートワークの導入や社員貸付制度の設立など、社員の安全・安心を第一に考えながら対策を実践していきました。これはまさに企業の社会対応力の発揮、つまりCSRを実践していくことであり、CSRの重要性も改めて感じました。

社会で活躍できる「強くたくましい人」へ

社会の激動の変化に合わせて社内も激動の変化をしていく中で、経営者としてこれからの野坂建設のあり方を考えさせられました。これまでは経営者として当社のステークホルダーの皆様を守りサステナブルに向けて舵を取っていくことを指針としておりましたが、世界的パンデミックを前に「本当に守ることができるのか」と私一人の力はあまりにも小さいことに気づきました。また、コロナ拡大に合わせて各部門のリーダーを中心にみんなで話あって次々と今できる最大の対策を実践しており、しっかりと経営理念に合わせて個々で考え判断し進めている姿を見て、とても頼もしい仲間がいることにも改めて気づきました。そこで、当社の人事ポリシーを「明朗に働く人」から「強くたくましい人」に改定しました。これからも社会は変化し続けますし、変化にスピード感と柔軟性を持って対応し成果を出せる人になれば、広く社会で活躍できると思います。



ウィズコロナ時代のCSR・CSVヘリニューアル

2020年度はウィズコロナ時代のCSR・CSVヘリニューアルする1年としました。今までは経営側でCSR・CSVを考えて目標設定しておりましたが、新しい人事ポリシーに合わせて、各部門のリーダーと共に実施しました。コロナにおける社会の変化に合わせてステークホルダーからの期待や要望はどう変化しているか、当社における重要な社会課題は何かを今一度考え、具体的なKPIに落とし込むことができました。みんなで考えた新しいCSR・CSVは2021年度から本格スタート致します。詳しくは後のページで報告いたしますので是非ご覧ください。

バックキャスティング思考で構築していくCSR・CSVにおいて、各部門リーダーが現場

のことを一番よく把握してくれています。より実現可能で全社員一丸となって目指していくKPIを設定できたと自負しております。

CSRで未来を拓いていく

当社は2022年度より50期を迎えます。これからの当社の持続可能性を高めていくためには、CSRを経営と連動して進めていくことは必須です。より社員のみんなと一丸となってCSRを推進していき、ステークホルダーの皆様をはじめとした社会から必要とされる企業になれるよう邁進してまいります。

今回のCSRレポートは、2019年度の活動に加えて今後の未来を拓いていく決意も掲載しております。是非ご一読いただき、忌憚ない意見を賜れますと幸いです。

COMPANY OUTLINE

会社概要

[商 号]		野坂建設株式会社
[代 表 者]		野坂 輝和
[設 立]		1972年
[資 本 金]		4,000万円
[従 業 員 数]		14名
[所 在 地]		本社 / 福岡県北九州市若松区高須東3丁目6番9号 水巻支店 / 福岡県遠賀郡水巻町杵2丁目1番13号 ゆめ環境 / 福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1712-45
[許 認 可]		・建設業許可 福岡県知事(特-1)第25068号(建築工事業) ・建設業許可 福岡県知事(特-29)第25068号 (土木工事業・とび土工事業・舗装工事業・水道施設工事業・解体工事業) ・産業廃棄物処分業(福岡県/第04020058381号) ・産業廃棄物処理施設設置(福岡県/第608号) ・産業廃棄物収集運搬業(福岡県/第04000058381号) ・一般廃棄物処理業(遠賀・中間地域広域行政組合/第7号) ・一般廃棄物処理施設設置(福岡県/第79号) ・肥料販売業務(福岡県/第2160号) ・特殊肥料生産業者(福岡県/4920号)
[加 盟 団 体]		・一般社団法人JBN・全国工務店協会 北部九州工務店ネットワーク ・特定非営利活動法人 日本樹木リサイクル協会 ・NPO法人 九州環境カウンセラー協会 ・公益社団法人 福岡県産業資源循環協会 ・一般社団法人 北九州市建設業協会 ・福岡県土木組合連合会 北九州支部 ・一般社団法人 倫理研究所 福岡県倫理法人会 ・公益社団法人 若松法人会 ・水巻町商工会

HISTORY of COMPANY

会社沿革

1971年	7月	野坂建設設立
1972年	4月	野坂建設有限会社へ資本金100万円にて組織変更、野坂作次就任
1985年	3月	代表取締役 野坂時夫就任
1990年	3月	野坂建設株式会社へ組織変更、資本金3,000万円に増資
1999年	2月	資本金4,000万円に増資
2002年	12月	リサイクルセンター「ゆめ環境」設置
2005年	9月	国土交通省 平成17年度 地域における中小・中堅建設業の新分野進出促進モデル構築支援事業選定
2006年	1月	岩国バイオマス発電所に発電用燃料としてチップを納品
2006年	5月	『ゆめ育土』福岡県リサイクル製品として認定
2007年	8月	代表取締役 野坂輝和就任
2008年	10月	3R推進協議会 平成20年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 「河川敷等の維持管理で発生する刈草のマテリアルリサイクル」で会長賞受賞
2013年	3月	エコアクション21認証登録
2014年	6月	本社を移転 住宅事業部『夢空間』開始
2014年	10月	3R推進協議会 平成26年度 リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰 「地域で発生する木くずリサイクルの実施」で会長賞受賞
2015年	10月	優良性評価制度基準適合(福岡県・処分業)
2016年	8月	ゆめ環境 事務所リニューアル
2017年	1月	モデルハウスオープン(水巻町緑ヶ丘)
2017年	3月	エコアクション21 対象範囲拡大で認証取得(水巻支店追加)
2017年	4月	宅地建物取引業開始
2018年	7月	Kingにんにく JASオーガニック認証取得
2018年	11月	発電利用に供する木質バイオマスの証明に関わる事業者認定 取得
2019年	3月	中間市、遠賀郡4町と遠賀・中間地域広域行政事務組合とで災害廃棄物の処理関する協定締結
2019年	6月	Kingにんにく・くろ JASオーガニック認証取得 一般廃棄物処分業許可に災害廃棄物(木くず) 追加
2020年	9月	モデルハウスオープン(遠賀町田園)



事業案内

環境事業

新たな製品に生まれ変わる

暮らしのなかで必ず発生する廃棄物。

私たちはその廃棄物をリサイクルし、地域の暮らしを支える製品づくりをしています。



● 廃棄物処理サービス

道路や河川保全で発生した草木や建物解体等で発生した木材等、災害時の発生した木くずの収集運搬およびリサイクル処理を行っております。当社にて資源として活用できるよう選別・破碎を行い、バイオマス発電用の燃料もしくは堆肥の原料に生まれ変わります。リサイクル率は100%です。



● 樹木伐採・解体サービス

庭や道路脇、河川沿いなどの樹木伐採や、建物等の解体・撤去も行っております。伐採した樹木等は当社施設でリサイクル処理し、その他は協力会社で適正に処分を行い、皆様の次なる暮らしを創造します。

【 廃棄物の処理フロー 】

許可取得
状況

- ・産業廃棄物処分業(福岡県)
- ・一般廃棄物処分業(遠賀・中間地域広域行政事務組合)
- ・産業廃棄物収集運搬業(福岡県)



事業案内

地域事業

やさしい地域を創造するために

野坂建設も地域市民の一人です。

遠賀川流域のこの地域ならではのやさしさのあふれるまちづくりを目指しています。



● 農産品栽培・販売

オリジナルブランドの「Kingにんにく」を栽培しています。このにんにくは一般的なニンニクの約5倍の大きさで、水分が多くジューシーな味わいと、匂いが少ないことが特徴です。

地元と連携し約2500坪の畑で栽培しており、有機の基準に基づいて生産した農産物及び農産加工食品の証であるJASオーガニック認証を取得しています。また、畑の一部では、土壌改良材による生産実証試験地として、産学民共同研究も行っております。Kingにんにくを使った加工品「Kingにんにく・くら」も製造しており、水巻町にある「夢工房」にてお問い合わせいただけます。

※研究名「微生物を用いた土壌改良材による高付加価値でかんにくの生産実証試験」(統括責任研究者:東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 教授 江口 文陽) ※収穫時期に合わせ、7月～10月に販売しております。 ※栽培・販売はグループ会社の有限会社ゆめ環境にて実施



● 堆肥化事業



当社にて処理を行っている一般廃棄物を活用し、土壌改良材「ゆめ育土」を生産しております。遠賀川河川敷の除草作業や造園業の樹木伐採工事から排出された草や樹木を使用し、化学薬品を使わず地球に優しい、安心安全の100%リサイクル商品です。

また、地域インフラの維持管理に関わるような土木・造成工事も行っており、地域の基盤づくりも行っております。



あたたかいくらしの礎にこだわる

毎日の生活を支える住まい。その住まいを構成する素材や空間づくりなど
ひとつひとつにこだわり、ライフスタイルの実現をサポートします。



● 新築・注文住宅

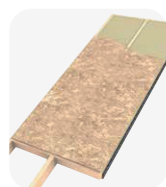
省エネで災害に強く長持ちする家で安心して快適に過ごしていただけるよう、様々な仕様をラインナップしております。お客様に寄り添いながら、夢が実現する空間を提案します。

【 家の性能 】

夢空間では大きく6つの観点から住宅性能を捉え、孫の世代まで繋いでいける家づくりを考えています。

省エネ スーパーウォール (LIXIL社)

構造用合板と断熱材を一体化させた「スーパーウォール」を使用することで、建物の気密性・断熱性が向上し、省エネ効果が期待できます。



災害に強い 制震装置 (ビルシュタイン社)

わずか1mmの揺れから働く木造住宅用制震装置です。自動車用ショックアブソーバーの技術を住宅に活かすことで、快適な住み心地が実現できます。



劣化が少ない 防蟻防湿シート

基礎コンクリートの下部に防蟻防湿シートを全面に敷き詰めることで、地上へ上がってくるシロアリをシャットアウトします。



静かな音環境 高気密施工 高断熱サッシ

気密性の高いスーパーウォール施工に加え、高断熱サッシと複層ガラス仕様などによって遮音性を高め、快適な室内環境を実現しています。

キレイな空気 天然素材の壁

風化した珊瑚を使用した天然素材の壁材は、調湿・消臭効果はもちろん、ホルムアルデヒド等を吸着したり、マイナスイオンの放出や殺菌効果もあります。

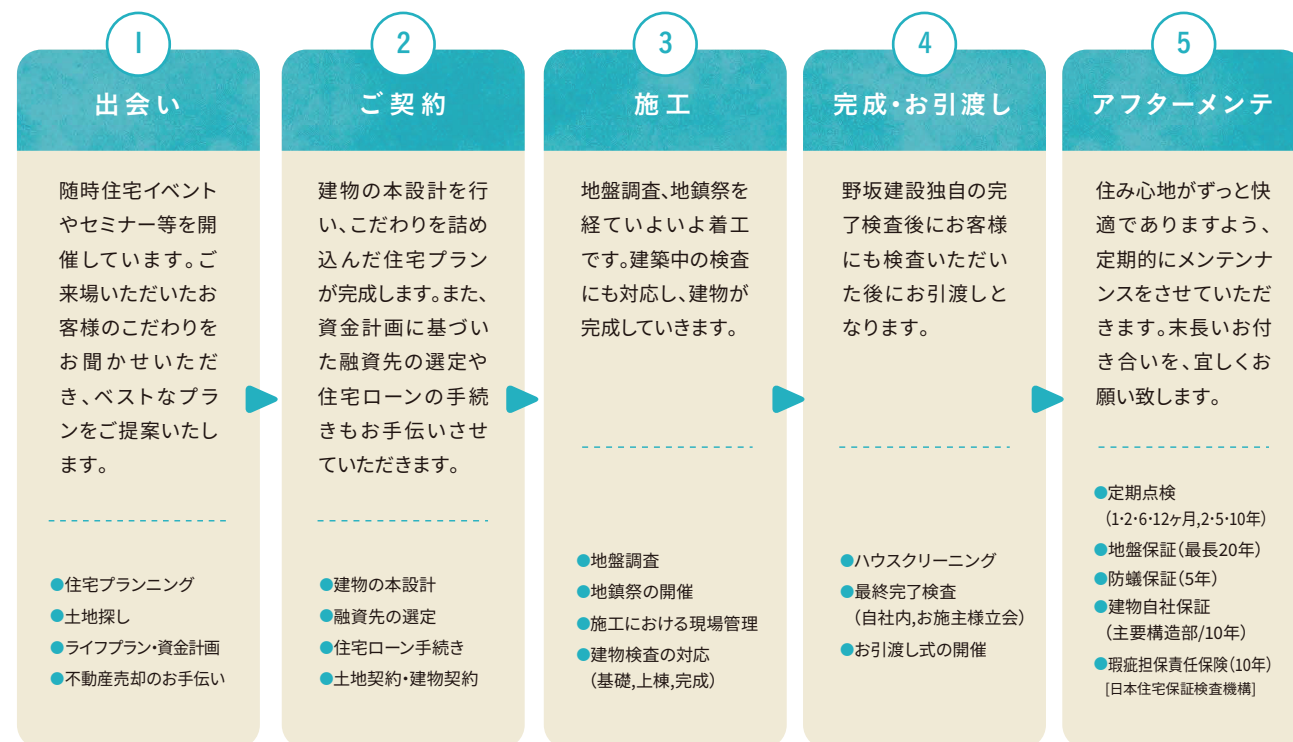


保証 建築スタートから 建築後までの あんしん保証

建築時には地盤や建築中の災害や事故において、建築後は瑕疵保証やシロアリ10年保証をはじめ、仕様に応じて長期の無結露や制振装置保証を整えています。

※その他お客様のご要望に合わせて各種仕様を準備しております。詳しくはWebサイトをご覧ください。

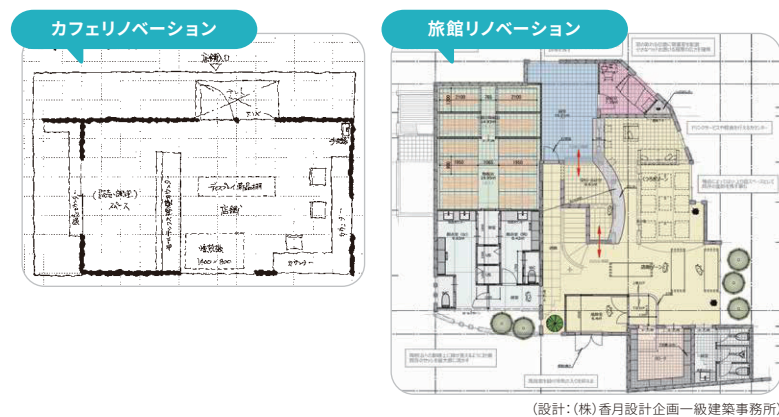
【 注文住宅完成までの流れ 】



● リノベーション

住まいは暮らし続けるとライフスタイルの変化で使い勝手がわるくなったり傷みや不具合が生じてくるものです。同じくオフィス・店舗も経営計画や働き方に応じて、新たな環境整備が求められます。私たちはちょっとした住まいに関するお悩みからブランディングを含めたオフィス・店舗のリニューアルなどのご相談も承っております。

■ リノベーション事例



■ To Business

その会社のポリシーや経営者の想いを形にする方法として、オフィスや店舗などの建物があると考えています。

まずは想いをお聞かせいただき、想いを基にデザインから施工まで一貫してご相談をお受けすることはもちろん、事業計画作成支援やキャッシュフロー及び補助金活用のアドバイスも行っています。



住宅事業に関わる有資格

- 建築士(2級)
- 建築施工管理技士(1級)
- 土木施工管理技士(1級)
- 防蟻防腐施工認定施工者
- 排水設備責任技術者
- 測量士補
- 福岡県被災宅地危険度判定士
- 福岡県被災建築物危険度判定士
- 木住協・リフォーム診断員
- 既存住宅状況調査技術者
- 増改築相談員
- 損害保険募集人一般試験基礎単位
- 木造ハウジングコーディネーター

ウィズコロナのCSR・CSVを考える

2020年2月頃より猛威を奮った新型コロナウイルス感染症の国内での感染拡大を受けて、社会は大きく変化しました。この外部環境の変化を受けて、当社が受けた影響、そして当社の事業活動においてステークホルダーの皆様にも変化が生じています。

そこで、2020年度はウィズコロナ時代において、当社のCSR・CSVはどうあるべきかを考え、改めてCSR方針・KPIを策定しました。



Voice

リニューアルを経ての想い

環境事業部 廣戸 大樹

相次ぐ自然災害に続き新型コロナウイルス感染症の拡大やさまざまな外部環境の変化があるなかで、当社の掲げる重要社会課題を今一度整理しました。その中でも、環境事業部の重点項目である「労働安全衛生」に関しては、今までは無かったコロナウイルスに対しての取組みや配慮が必要となりました。また、災害に対しても大小関わらず、平時より有事の想定を身近に置いて準備や訓練などの取組みを怠らず実践していくことが重要だと改めて感じました。

外部環境の変化と共に成長するのではなく、変化のその先までも想定して優先順位を考えていくことで、ステークホルダーの皆様から必要とされ信頼や信用をして頂ける企業へと成長できるよう、環境事業部の価値の進化に努めていきます。

総務部 鈴木 由貴

総務部は建設土木工事・リサイクル業に係る多種の業務を行う上で、計量の受付システムをクラウド化へ変更する等様々な業務改善に取り組んで来ました。

予想もしていなかった新型コロナウイルス感染症の拡大に、急遽テレワークや交代勤務制を実施せざるを得ない状況となりましたが、部内の業務体制や内容など、今までの当たり前が本当に適切なのか、俯瞰して見直すきっかけとなりました。

今後はさまざまな社会の変化に対応していくためにも、総務部のビジョンを明確にし、ビジョンに沿った人材育成・全社に係る業務改善や働き方改革を進めて参ります。

住宅事業部 田浦 一成

日本の住宅は、東日本大震災をきっかけに「耐震」や「防災」に対する意識が高まりました。それから約10年経った2020年は新型コロナウイルス感染症の影響が加わり、災害の幅を広げた安全の確保や在宅ワークへの対応など、住宅の存在意義は大きな変化をしています。今回のCSR・CSVのリニューアルを通して、この変化は住宅事業部においてとても重要なものだと改めて感じました。

我が家は住めば住むほど、想い出が増えていきます。その想い出は、他に変えられない唯一無二の宝物です。だからこそ、私たちは子や孫の世代まで住み継げる住宅仕様を追求し、時代や環境に取り残されない、家族も家も共に健康な家づくりを行っていきます。

未来デザイン室 渡邊 美穂子

新型コロナウイルス感染症が世の中を震撼させ、従来の活動を思うようにできない中、改めて重要なステークホルダーが誰なのか、自社が提供できる安全・安心やサービスはどう変化するのが最善なのかを経営理念を基軸に整理していきました。また、時代のスピードに取り残されずに成果を出していくために、KPIでゴールを定め、PDCAサイクルでの最適な運用体制まで見直しを図った1年間となりました。

各CSR活動の実践には担当者を定めて行います。ここには役割責任が発生し人材育成としての機能も持ちます。未来デザイン室では、CSRによる次世代の人材育成・確保を重点において、更に持続可能性向上に貢献できる部署になれるよう努めてまいります。

CSR・CSVのリニューアルプロセス

Step.1 自社分析



コロナウイルス前後での社会の変化を考える「市場分析」、改めて自社のステークホルダーからの期待やリスクを考える「ステークホルダー分析」、ウィズコロナでの組織活動が周囲にどんな影響を与えるかの「影響分析」の3つの観点から、新しい環境における自社分析を実施しました。

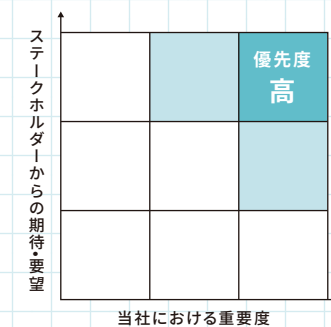
当社の重要ステークホルダー



Step.2 重要社会課題の特定



経済・環境・社会の3つの側面から自社に関連のある社会課題を洗い出し、ステークホルダーからの期待・要望を加味して、特に自社と関連の深い重要社会課題を特定していきました。



当社の重要社会課題

- 労働安全衛生
- 廃棄物処理
- 防災・減災
- 原材料調達
- エネルギー
- 気候変動・地球温暖化
- 資源の枯渇
- 大気への排出
- 水と排水
- 雇用と教育
- 被災地支援
- 地域コミュニティ

Step.3 CSR方針の見直し



特定した重要社会課題の解決にむけて、CSRの進む方向を示す「CSR方針」が適切に見直しました。

Step.4 KPI・CSR活動の見直し



「重要社会課題解決に近づいているか」の成果を図る指標(KPI)と、具体的な取組み内容を再考しました。

Step.5 CSRマネジメント体制の整備



KPIに達成に向けたPDCAサイクルを構築し、適宜運用・改善が図れる状態を整備しました。

CSR方針 P11~12

KPI P13~14

Vision 地域の輝きをつなぐプラットフォーム

自然との調和が保たれている住宅で暮らし、生活で出る廃棄物は地域でリサイクルされ、農業やエネルギーなど様々な形で地域に還元される。野坂建設は、このような「やさしくつくしい暮らし」がある地域を目指しています。

そのためには、組織の持続可能性を高め、様々な社会課題の解決が必要です。

事業活動やCSR活動を通じて社会課題の解決に貢献し、地域の輝きを創造できるよう活動を推進しています。

事業活動を通じた社会課題解決への挑戦

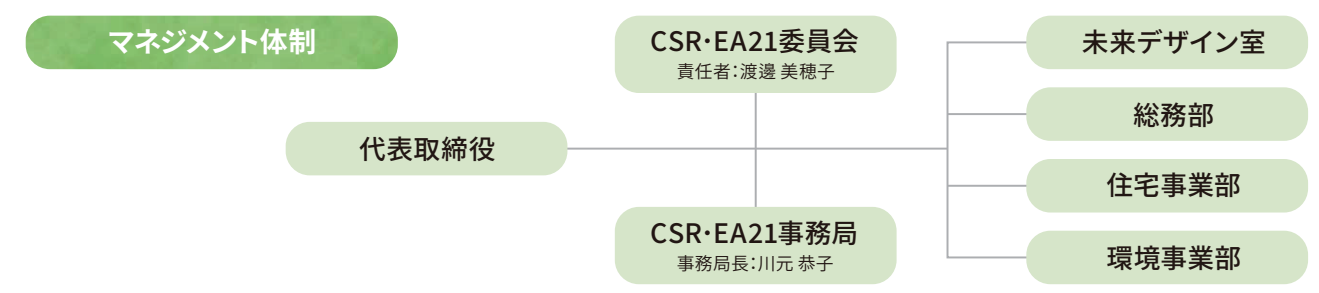
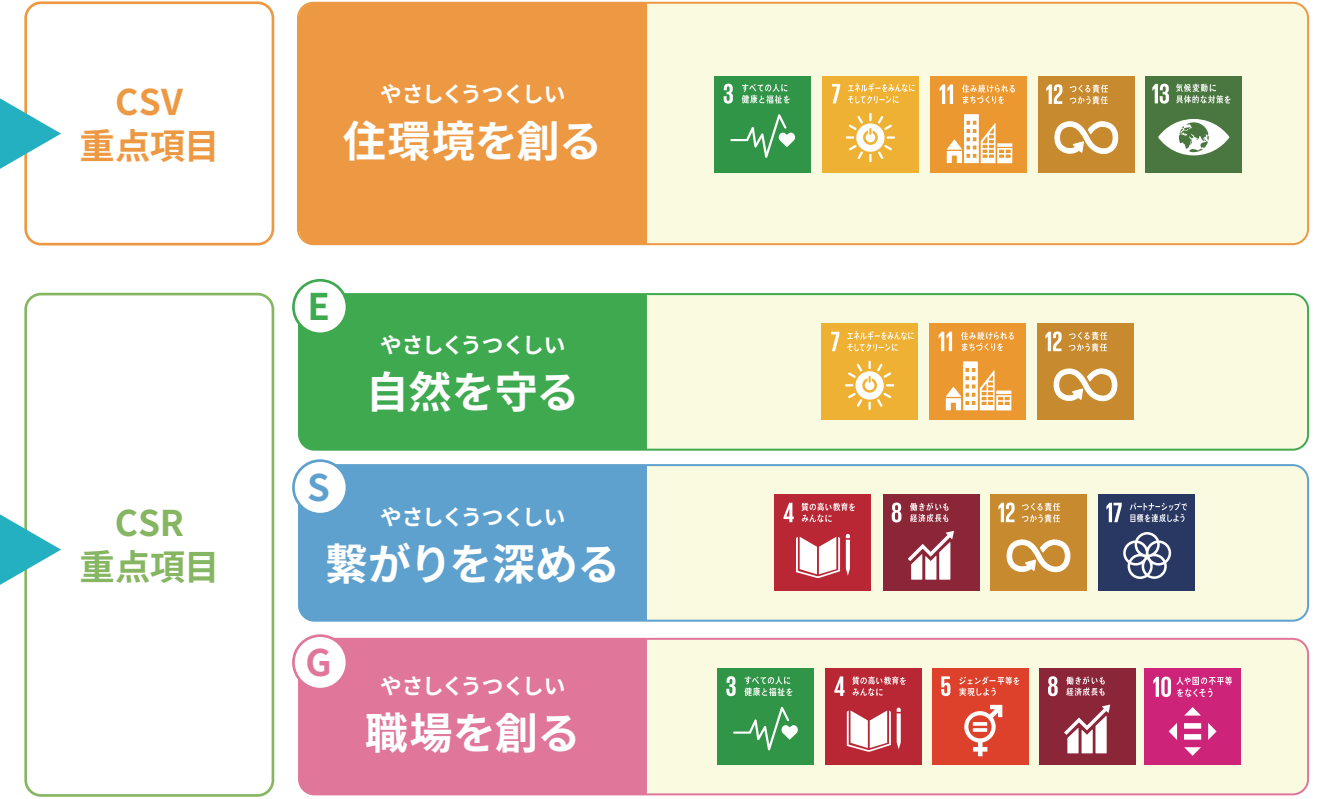
事業に伴う影響に対応



CSR方針

当社事業における重要度とステークホルダーからの期待を踏まえて、事業に伴う影響にESGの観点から対応していくCSRと、事業を通じて社会課題の解決を目指すCSVの2つで重点項目を設定しています。

また、重点項目とSDGsとの関連付けも行い、持続可能な社会の実現を目指していきます。



「SDGs」とは

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの持続可能開発目標のこと。途上国だけでなく先進国も含めたすべての国が取り組むべき目標であり、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。



重点項目	重要社会課題	関連するSDGs	KPI	目標値			活動内容	主担当
				2021	2022	2023		
🏡 やさしくうつくしい住環境を創る								
	廃棄物	  	廃棄物 中間処理後 搬出量	前年比 490t 増加	前年比 490t 増加	前年比 490t 増加	①チラシ配布による集客活動実施 ----- ②既存顧客や新規見込顧客への訪問営業実施	環境事業部
	顧客の安全衛生 防災・減災 自然災害	    	SW住宅・ 高気密高断熱 住宅 年間建築棟数	7棟 完工	8棟 完工	9棟 完工	①田園モデルハウスへの来場活動実施 ----- ②定期イベントの開催 ----- ③SNS,HP等メディアでの情報発信 ----- ④新生活様式(ニューノーマル)に沿った住宅仕様等の提案・発信	住宅事業部
	地球温暖化 エネルギー 大気への排出	    	ZEH住宅 年間建築棟数	3棟 完工	4棟 完工	5棟 完工	①田園モデルハウスランニングコストデータ収集 ----- ②ZEH取組をSNS,HP等メディアで情報発信 ----- ③ZEHアプローチブックの運用、ロープレの実施	住宅事業部
🌿 やさしくうつくしい自然を守る								
	地球温暖化 エネルギー	 	売上当たり 電気使用量	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	①未使用時の電気消灯の徹底 ----- ②設備電気不要時の負荷遮断 ----- ③設備のアイドリングストップ ----- ④残業時間の削減検討 ----- ⑤昼休みの消灯 ----- ⑥太陽光発電設備の設置検討	総務部 環境事業部 総務部
	地球温暖化 エネルギー 資源の枯渇		売上当たり 燃料使用量 (ガソリン・軽油)	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	①アイドリングストップの徹底 ----- ②「エコドライブ10のすすめ」を車内に掲示 ----- ③重機の定期検査 ----- ④破碎作業の効率の実施 ----- ⑤破碎機の清掃 ----- ⑥電気リフトの導入検討	環境事業部
	廃棄物	 	社員1人当たり 一般廃棄物 排出量	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	①廃棄物の分別徹底 ----- ②リユース・リサイクル推進活動の展開 ----- ③排出量の秤量管理 ----- ④5S活動の実施	総務部
	廃棄物		産業廃棄物 再資源化率	前年比 3%向上	前年比 3%向上	前年比 3%向上	①廃棄物管理を強化し排出実績を分析 ----- ②現場分別の強化 ----- ③リサイクル委託先の見直し	住宅事業部
	水と排水		廃棄物 受入量当たり 水使用量	前年比 1%削減	前年比 1%削減	前年比 1%削減	①重機や車両等の計画的洗車実施 ----- ②破碎作業時の計画的散水 ----- ③雨水の活用検討	環境事業部
	調達慣行		グリーン購入法 適合製品 導入品目数	36品目	36品目	36品目	①5S活動による備品の在庫管理徹底 ----- ②購入時の調査・検討	総務部
調達慣行		環境配慮型 製品の導入	導入実施	導入実施	導入実施	①環境配慮型ノベルティの製作 ----- ②環境配慮型製品の導入	未来 デザイン室	

重点項目	重要社会課題	関連するSDGs	KPI	目標値			活動内容	主担当
				2021	2022	2023		
👥 やさしくうつくしい繋がりを深める								
	地域活動・ボランティア・地域コミュニティ	 	地域との協働件数	6件	6件	6件	①対象月第1週目に各拠点で地域清掃実施 ②地域開催のセミナー等での登壇 ③地域開催のイベント等への参加 ④地域団体やイベント等への協賛や寄付	環境事業部 未来デザイン室 総務部
	地域コミュニティ	 	ステークホルダー向けイベントの開催	実施継続	実施継続	実施継続	①社外のステークホルダー向けイベントの開催（感謝祭、にんにく収穫祭など） ②社内のステークホルダー向けイベントの開催（経営計画発表会など）	未来デザイン室
	地域コミュニティ	  	環境教育実施	実施継続	実施継続	実施継続	①小学生への環境教育実施	未来デザイン室
	地域コミュニティ	  	キャリア形成活動への参画	実施継続	実施継続	実施継続	①環境事業部における中学生職場体験受入 ②中学生向け出張職業講話講師の実施	未来デザイン室
	防災・減災被災地支援		BCP更新	1回/年	1回/年	1回/年	①防災・避難訓練の実施 ②BCP勉強会の創意工夫開催 ③防災グッズ・備蓄品の棚卸（在庫確認→検討→購入） ④BCP文書の更新	環境事業部 総務部 未来デザイン室
	防災・減災被災地支援		BCPパートナーシップ件数	3件	4件	5件	①BCPIにて重要な協力会社をリストアップ ②協力会社にBCPパートナーシップの提案・協議 ③BCPパートナーシップの契約締結	環境事業部
	🏡 やさしくうつくしい職場を創る							
	労働安全衛生		労働災害発件件数	0件	0件	0件	①月一回の安全会議 ②資格取得（労働安全衛生法による安全衛生教育他） ③ヒヤリハット報告書の提出 ④終業時に滞留物の場内点検の実施（火災・天災防止） ⑤安全会議の開催 ⑥下請け安全教育の実施 ⑦現場安全パトロールの実施	環境事業部 住宅事業部
	雇用と教育	  	新規雇用人数	2名	2名	2名	①社内外教育の参加奨励 ②資格取得支援の実施 ③評価制度による適正評価とキャリアアップ支援 ④採用活動の実施	全部門
		  	社員1人あたり有給休暇取得日数	5日以上	6日以上	7日以上	①取得実績個別管理表での取得日数管理 ②1人あたりの生産性の指標設定	全部門
経営環境の変化スピード 働き方改革		事務部門1人あたり テレワーク実施日数	1日/月	2日/月	3日/月	①テレワークの実施スケジューリングと管理	総務部 未来デザイン室	
経営環境の変化スピード		業務改善採択件数	8件	8件	8件	①4つのテーマで業務改善提案の奨励と評価・運用（コンプライアンス、CSV、BCP、時短）	全部門	

代表者による全体評価と見直し・指示

総評

本年度も昨年同様に事業活動と環境・CSR活動の相関関係の社員への意識づけを行い、その上でサービスと付加価値をお客様に向けて発信する努力を行ってきました。今後も適正利益を上げていくことと、地域貢献の両立を目指して事業活動をしていきます。

また、第4四半期の2020年2月頃には新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、私たちの企業活動や今までの体験で培った価値観に大きな影響を与えました。社会の変化速度にはすぐには追いつけませんでしたが、会社全体の命題である人材育成の教育コンセプトを根本から見直し、より強靱な組織をつくる

土台ができました。環境事業においては、改めてエッセンシャルワーカーとして緊急時には地域から必要とされる業務を行っていることを再認識しましたし、建設事業においてより持続可能な（環境負荷の少ない）建物の追及を行いました。ビジョンから事業をアプローチすることはこれからも変わりませんが、リスクからアプローチすることも今後行います。

最後に、当社はコロナ禍において成長（変化）しているようで外部環境に成長（変化）させられています。当社が解決できる地域課題は何かを提案できるよう研鑽することと各自が与えられた責任を果たしていくことを期待します。

評価・見直し

運営の為の組織体制は整いました。今後はさらに各部門から選抜された委員会メンバーだけでなく全社に環境負荷削減の意識を浸透させる工夫を行います。

事務所の電気使用量や一般廃棄物の排出量削減は日々の積み重ねの成果だと評価できます。目標値については昨年度より取り組みの効果が明確になる単位へ変更を行った結果、新たな目標設定時の指標となるデータを集めることができました。期末にかけてのコロナウイルスの影響は環境面のKPI目標数値が上振れし、売上に直結する建設数値に及び、巣ごもり需要のあった環境事業部の燃料使用量に関連するKPI目標数値については大きく下振れました。結果、通年行っている評価と見直しは実施できないと判断し、今後どうしていくかに集中した見直しを行いました。

現在、自社使用電力は燃料チップを供給しているバイオマス発電所の運営会社より購入しています。今後さらに未利用材由来の木質チップの製造、自社敷地内での太陽光発電及び小型バイオマス自家発電設備の可能性を検証していきます。

今後の課題・目標

- 1 二酸化炭素排出量削減に向けて：
現場の電気使用量の比率は全体の0.5%に満たないため、当社のEA21を含めたCSR活動目的を達成するための目標（通過点）とするには乏しいと判断した。現場におけるKPIは工期内啓発数に再設定すること。
- 2 二酸化炭素排出量削減に向けて：
環境事業部における軽油使用量削減目標の未達要因を調査して目標値の再設定をすること
- 3 水資源使用量の削減に向けて：
井戸・雨水・近隣貯留池取水が可能か検証すること
- 4 環境保全活動の実施に向けて：
部門ごとのKPI設定と週次会議の開催で目標未達すること
- 5 エネルギーマネジメントに向けて：
余剰地の太陽光パネル設置を検証すること

当社では、重点項目ごとに部門計画と連動させたKPIを設定しています。
日常的な活動の実施とチェック、改善を行う独自のマネジメント体制にてCSR・CSVを推進しています。

重点項目	社会課題	KPI	関連するSDGs・GOAL	対象範囲	EA21※1	取組内容※2	2019目標	2019結果	評価※3	2020目標
🏠 やさしくつくしい住環境を創る										
地域における住環境の課題解決	夢・空・間住宅年間建築棟数		7 持続可能な都市とコミュニティ	住宅事業部	○	①モデルハウス建築 ②定期イベントによる集客仕組化 ③住宅仕様の追求 ④HP等メディアでの情報発信	6棟	2棟	△	7棟
	リフォーム・リノベーション施工件数		7 持続可能な都市とコミュニティ	住宅事業部	○	①自然素材リフォームの提案 ②定期イベントによる集客仕組化 ③大型リフォームの商品化	前年度実績維持	実績維持	○	前年度実績維持
	刈草・伐採枝・解体木くずの廃棄物処理受入件数		12 持続可能な消費と生産	環境事業部	○	①敷地内より国道に向けての自立看板の設置 ②自社車両の側部に広告設置 ③チラシ配布により集客活動実施 ④既存顧客や新規見込み顧客への訪問営業実施	11,304件	13,185件	○	11,600件
🌿 やさしくつくしい自然を守る										
CO ₂ 排出量の削減	売上当たり電気使用量		7 持続可能なエネルギー	事務所現場	◎	①未使用時の電気消灯の徹底 ②設備電気不要時の負荷遮断 ③節電シール等の表示 ④設備のアイドリング ⑤残業時間の削減検討 ⑥昼休みの消灯 ⑦LED照明の導入	前年比1%削減	9%増加	△	前年比1%削減
	売上当たり燃料使用量(ガソリン・軽油)		13 気候変動に具体的な対策を	【ガソリン】事務所 【軽油】破砕施設現場	◎	①アイドリングストップの徹底 ②「エコドライブ10のすめ」を車内に掲示 ③重機の定期検査 ④破砕作業の効率の実施 ⑤破砕機稼働後の清掃	ガソリン前年比1%削減 軽油前年比1%削減	25%増加 80%増加	△ △	前年比1%削減 前年比1%削減
廃棄物削減と適正処理	社員一人当たり一般廃棄物排出量		12 持続可能な消費と生産	事務所	◎	①廃棄物の分別徹底 ②リユース・リサイクル推進活動の展開 ③排出量の秤量管理 ④5S活動の実施	前年比1%削減	18%削減	◎	前年比1%削減
	産業廃棄物再資源化率		12 持続可能な消費と生産	現場	◎	①廃棄物管理を強化し排出実績を分析 ②分別方法の見直し ③リサイクル委託先の見直し	基準値設定	設定完了	○	前年比3%向上
水資源の確保	廃棄物受入量当たり水使用量		12 持続可能な消費と生産	事務所	◎	①洗浄作業の見直し検討 ②節水コマの取付 ③節水シールの表示 ④中間処理施設の計画的散水 ⑤調達と利用状況の見直し	前年比1%削減	15%増加	△	前年比1%削減
グリーン購入の推進	グリーン購入法適合製品導入品目数		12 持続可能な消費と生産	事務所	◎	①5S活動による備品の在庫管理徹底 ②購入予定時の調査検討	36品目	36品目	○	36品目
環境配慮型製品の採用	環境配慮型製品の購入		12 持続可能な消費と生産	事務所	○	①環境配慮型ノベルティの製作 ②環境配慮型製品の導入	導入実施	1件導入	○	導入実施
👤 やさしくつくしい繋がりを深める										
ステークホルダーとの繋がり	地域ボランティア活動参加回数		11 持続可能な都市とコミュニティ	全体	◎	①自社周辺道路の清掃活動実施 ②地域開催活動・イベント等への参加	4回	1回	△	4回
	地域との協働件数		11 持続可能な都市とコミュニティ	全体	○	①地域イベントへの協賛や参加 ②地域開催のセミナー等での登壇	2件	2件	○	2件
	ステークホルダー向けイベント実施		11 持続可能な都市とコミュニティ	全体	○	①ステークホルダー感謝祭の開催 ②Kingにんにく収穫祭の開催	実施継続	実施	○	実施継続
次世代の教育	環境教育実施		4 質の高い教育をみんなに	全体	○	①小学校での環境教育実施	実施継続	実施	○	実施継続
	キャリア形成活動実施		4 質の高い教育をみんなに	環境事業部	○	①リサイクル部門における中学生職場体験受入 ②中学校においての出張職業講話講師	実施継続	実施	○	実施継続
🏢 やさしくつくしい職場を創る										
人財開発	新規採用数		8 働きがい、経済成長、公平な雇用	全体	○	①社内外教育への参加奨励 ②資格取得支援の実施 ③評価制度の導入 ④採用活動の実施	採用1名	1名採用	○	採用1名
働き方改革	有給休暇取得日数		8 働きがい、経済成長、公平な雇用	全体		①取得実績の個別管理表作成 ②取得日数の少ない社員へ奨励 ③業務効率化に向けたシステム導入	65日	140日	◎	70日
安全な施工体制	労働災害発生件数		3 健康と福祉	全体	○	①日常的なKY活動・ヒヤリハット活動の徹底 ②安全パトロールの実施 ③現場における5S活動実施 ④災害防止対策の立案と防災訓練等の実施 ⑤安全大会の開催	0件	0件	○	0件

※1:事業活動における直接的環境影響:◎、間接的環境影響:○ ※2:赤字は2019年度結果を踏まえて改善・強化した取組内容
※3:[評価内容] ◎:目標達成(120%以上) ○:目標達成(100%以上) △:取組実施・目標未達 x:取組未実施

01 「夢・空・間」の家づくり

家族の笑顔あふれる未来がつまった夢の家を、空と大地、太陽や風などの自然の力を活用した素材や仕様でつくり、効率のよい時間や空間づくりで人と人との間合いを豊かなものにする。そんな家づくりをご提案しています。

コンセプト



夢

家族の笑顔あふれる未来がつまった夢の家を

空

空と大地、太陽や風などの自然の力を活用した素材や仕様で

間

機能的な収納や家事動線でゆとりのある空間をつくり住む人の間合いを豊かなものに

Point.1 安心して暮らすための3つの性能

①省エネ ②災害に強い ③長持ちするという3つの観点から家づくりを考えます。

Point.2 ずっとサポート

はじめからその後も、ずっと野坂建設が寄り添います。

【 遠賀町田園地区に新モデルハウス完成 】



N-STYLE 取り残されない家

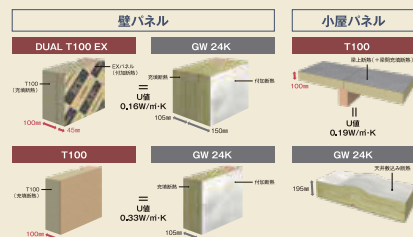
日々変化する日常。その変化と未来に対応できる安心の住処とは...
今家に求められるもの。それは、住まう人を守ること。当たり前でありながら最も大切なこと。そして、地球や資源にもやさしさあふれる家を...
家族の未来を考えると、きっと答えが見つかります。
地域に寄り添った私たちだからこそわかること、できることがあります。家づくりのプロとして、本物が伝えたい本物の家を「N-STYLE」としてここに建築しました。これからの性能やいつ起きるかわからない災害。いつの時代も快適なデザイン。核となる理念はSDGs。時代に取り残されない家を未来へつなぐために...

スーパーウォールは、家と家族を大切にし、暮らしをめいっぱい楽しみたい人のために。



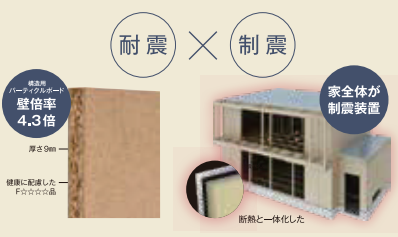
断熱性 SUPER WALL PERFORMANCE

業界最高レベルの断熱性能を実現



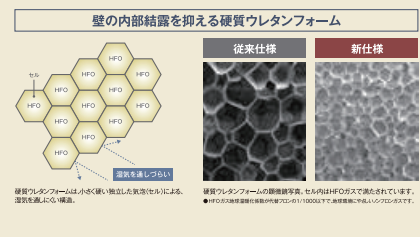
高耐震 SUPER WALL PERFORMANCE

耐震性を高め、くり返しの地震にも強い



耐久性 SUPER WALL PERFORMANCE

高能断熱材で、住まいの耐久性を持続する



当社の家づくりへの想いや、施工事例などはWebサイトやSNSをご覧ください。

Webサイト



instagram



02 木くず前処理工程設備導入の検討

環境事業で行っている木くずの破碎処理について、前処理工程のデモ機を導入しました。

この設備は、木くずの中に混入している金属などの異物除去と粗破碎を行います。前処理工程を経ることによって、次の破碎で完成する木チップ製品の品質向上が期待できます。また、災害廃棄物発生の際に、よりスピードを持って処理を進めることも想定しています。今年度はデモ機を導入し、品質向上や対応能力向上の検証を進めてきました。

当社の環境事業では、木チップを堆肥やバイオマス発電のエネルギー源としてリサイクルしています。高い品質を確保しリサイクルを維持できるよう、改善に努めていきます。



03 堆肥製品ヤードを強化



ゆめ環境の近くに堆肥製品を保管できるヤードを設けることになりました。2021年より着工を開始し、約3年ほどかけて整備していく予定です。

このヤードでは、約800㎡ほどの堆肥を保管し、季節を限定せず供給できる体制を整えます。また、2019年に中間市・遠賀郡4町等と災害廃棄物処理協定を締結し、有事の際の一時保管場所としての活用も想定しています。

サービスの品質向上と本業における地域貢献を目指して、着実に整備してまいります。

04 刈草のリサイクルで農福連携を支援

ゆめ環境では、道路や遠賀川の清掃整備に伴って発生した刈草も受け入れ、リサイクルを行っています。刈草は、破碎機で細かくした後に、堆肥の原料として地元農家の方々に提供しております。

その提供先の一つ、社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 八幡西障害者地域活動センター様では、農福連携事業として運営されている園場で活用いただいております。障がい者の就労支援も行う育成会様の、施設利用者の方が社会で活躍できるよう幅広い分野から真の自立支援をサポートされている想いに共感し、リサイクル堆肥・ゆめ育土と当社のKingにんにくを提供させていただきました。

当社のリサイクル事業や農業を通じて、多様な地域の皆様との連携からインクルージョン社会形成の一助となれるよう、今後も活動を推進していきます。



01 環境マネジメントシステム：エコアクション21の運用

2013年より、エコアクション21(策定：環境省)を用いた環境マネジメントシステムを構築し、環境配慮の取り組みを行っています。

当社事業活動にて発生する環境影響を分析した上で計画を策定し、環境配慮活動を推進しています。2016年からはCSR活動の一分野として「環境」を捉えたことも契機となり、全社的な活動に発展しています。

今後は、事業活動との連動をより一層高めることができるよう、活動内容や運営方法の改善に努めていきます。



エコアクション21対象範囲 (認証・登録範囲)

- 対象組織：野坂建設株式会社
- 対象活動：土木工事業、建築工事業、舗装工事業、とび土工事業、水道施設工事業、産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業、土壌改良材生産販売

【 環境方針 】

環境理念

私たちは、自社の付加価値を発揮した事業活動を通じ、ステークホルダーに対して地球環境にやさしい暮らし方の提案を行い、未来のうつくしい地球環境を創造します。

行動指針

- 1 やさしくつくしい住環境を創る**
 - 自然共生の住宅等インフラ整備
 - 木質資源の有効活動の研究開発
 - 持続可能な都市(環境)づくりの推進
- 2 やさしくつくしい自然を守る**
 - 事業活動に必要な水・エネルギー資源の省力化
 - 事業活動に伴い排出される廃棄物抑制
 - 環境配慮型商品の採用
- 3 やさしくつくしい繋がりを深める**
 - 環境啓発イベントの開催と地域ボランティアへの参画
 - ステークホルダーへの感謝とさらなる連携強化
 - 自然災害など有事に対しての対応の円滑化
- 4 やさしくつくしい職場をつくる**
 - 自らのいきがいとお客様への誇り、家族への感謝をもって仕事できる環境改善と整備
 - 人材教育・キャリア形成と適正な人事考課及び分業の仕組運用
 - 安全第一な職場形成に向けた労働安全衛生教育の強化

令和元年6月1日 野坂建設株式会社 代表取締役 野坂 輝和

【 環境関連法規 】

当社に適用となる環境関連法規は以下の通りです。内部監査にて評価を実施しております。

■法令

- 浄化槽法 ●騒音規制法 ●振動規制法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 資源の有効な利用の促進に関する法律
- 特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律
- 使用済自動車の再資源化等に関する法律
- 計量法
- オフロード法
- 国等による環境物品の調達の推進等に関する法律
- 地球温暖化対策の推進に関する法律

■条例

- 生活環境保全条例
- 森林環境保全条例

■その他規制

- 福岡県北九州市土整備事務所

2019年度の事業活動については、環境関連法規を適正に遵守していることを確認し、違反はありませんでした。また、関係機関からの違反の指摘、利害関係者からのクレームや訴訟も過去3年間はありません。

02 CO₂排出量削減にむけて

電気 電力調達先の選定

2019年1月より、再生可能エネルギーやFIT電気を調達している株式会社ミツウロコヴェッセルからの電気購入に全量切り替えを行いました。

FIT電気とは、風力発電、太陽光発電、そしてバイオマス発電などの再生可能エネルギーのうち、国の固定買取制度の適用を受けた電気のことです。当社の環境事業における木くずのチップもバイオマス発電の燃料として活用されており、事業活動との親和性も考え選択いたしました。

運営に必要なエネルギーを環境にやさしい発電方法を取り入れた会社から調達することで、より地球や社会との繋がりを意識して日々の活動に励んでいきます。

燃料 環境事業における軽油使用量の調査

当社のCO₂排出量で一番多いのは軽油使用によるものです。2019年度は目標に対して大きく未達となりました。

社内で原因を分析した所、木くず処理において前処理デモ機を導入したことが一番の要因でした。前処理工程は異物の除去や次の工程をスムーズにするためのステップであり、木チップの製品品質向上に繋がります。ステークホルダーからの要求でもあることを踏まえ、環境負荷増加にはなりますが導入検討を進めています。

今後は、この前処理工程追加も含めたフローの中でいかに効率よく省エネを図りながら運転できるかに注力し、引き続き使用量削減に向けた改善を行ってまいります。

03 産業廃棄物のリサイクル推進

建設事業で発生する産業廃棄物を中心にリサイクル処理を推進しています。

今年度は改めて現場での分別廃棄を徹底しました。現場内に分別看板を設置することで、職人の方々との共通認識を持つことに重点を置きました。発生した木くずは自社施設でリサイクル処理を実施、その他の廃棄物は委託している処理会社と連携しリサイクルでの処理を進めています。今後も現場での廃棄物管理を推進し、より高いリサイクルの実現を目指していきます。



04 水使用量の削減に向けて



当社環境事業の木くず中間処理工程にて粉塵を抑えるための散水作業で水を多く使用しています。作業時の計画的散水等を実行してきましたが、2019年度は天候を見つつ適切に散水を行った結果、増加となりました。

安全な環境確保には必須のため、使用量の削減に加えて雨水の活用等も検討していきます。

05 グリーン購入の推進

事務所で使用する文房具等を中心にグリーン購入を進めています。備品購入時にグリーン購入製品を調査し、優先的に選択していくことで、36品目の商品を切り替えることができています。活動を継続していくことで、当社のグリーン購入備品の定番化ができました。今後は品目数の維持に力を入れていきます。

グリーン購入製品数

36品目



CSR・S

やさしくつくしい繋がりを深める

01 ステークホルダー感謝祭の開催



お客様や地域の方々など、日頃からお世話になっている当社のステークホルダーのみなさまに感謝を伝えることを目的に、毎年10月に「ステークホルダー感謝祭」を開催しています。

第4回目の感謝祭を2019年10月13日に開催しました。今回はサーカスパフォーマンスやビンゴ大会などのプログラムで老若男女の皆様にくつろいで楽しんでいただきました。今後は新型コロナウイルスにも配慮した新しい形での開催を企画し、継続していきます。

参加人数

125名

02 中小企業大学校にて発表



2019年7月22日に開催されたセミナー「九州経営塾」(主催:中小企業大学校直方校)において、当社代表の野坂が講演しました。このセミナーは、北九州のアツい未来を創り出す知恵と勇気を学ぶことを目的としており、野坂からは自社のCSRやSDGs経営の浸透について、事例を中心に話しました。当日は22名の経営者や幹部の方々に参加いただきほとんどの方から参考になったとの回答をいただきました。

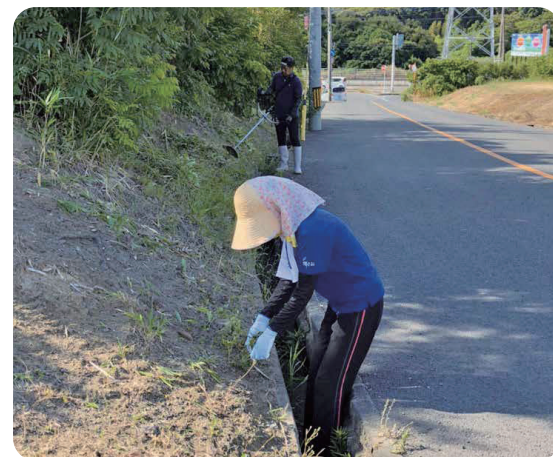
今後も積極的に講演活動を行い、地域のサステナビリティ意識の醸成に貢献して参ります。

03 地域清掃活動への参加

地域社会の一員として、当社周辺の清掃活動と地域開催の清掃活動への参加を継続して行っています。

自社周辺の清掃活動では、周辺道路のごみ拾いと草刈りを行い、集められた刈草は、当社でリサイクルし、資源循環へとつなげています。

次年度からは年間計画を改めて見直し、定期的かつ継続した活動を実施し、うつくしい地域の環境整備に貢献して参ります。



04 次世代の教育

地域の次世代を担う子どもたちに、当社事業領域の体験を通した新たな発見や学びに貢献し、やさしくつくしい未来へ繋げることができるよう、様々な形で教育サポートをさせていただいています。

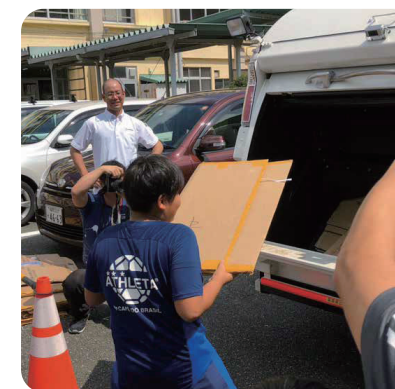
小学生



環境教育

水巻町環境課との協働で、机小学校の小学4年生向けに環境教育を実施しました。

地域のごみ問題に目を向けてもらうために、遠賀川流域のごみの状況や水巻町で出るごみの量や中身について説明し、3Rの重要性をお話し、ごみ問題を解決するために大切な「分別」について、パッカー車による分別収集体験を行いました。また、身近な活動として食品ロスについて紹介し、ごみ問題がSDGsとも関連していることをお伝えしました。



中学生



職場体験



2019年9月に、水巻南中学校の生徒6名に職場体験に来て頂きました。今回は、当社農業事業で栽培した「Kingにんにく」の収穫後の作業を体験いただきました。

地元の特産品に触れることで、食べ物の大切さ生産者の思いを少しばかり感じていただけたと思います。職場体験を通じて将来の職業選びへの貢献や郷土愛も育めるよう活動を継続してまいります。

地域

コスモスまつり
環境ブース

福岡県地球温暖化防止活動推進員地域連絡会の一員として、2019年10月に水巻町内のみどりんばあーくで開催された「コスモスまつり」にて環境ブースの出店を行いました。ブースでは、気候変動に関するクイズを用意しご来場の皆様に挑戦いただき、福岡県の環境マスコットキャラクター・エコトンのグッズやKingにんにくをプレゼントしました。遠賀川流域に広がるコスモスに囲まれながら、この景色を維持していくためにできる日常的な活動をクイズで紹介することにより、環境活動の大切さをお伝えできたかと思っています。



TOPICS 新型コロナウイルス感染症への対応

2020年2月頃から日本でも猛威を奮い続ける新型コロナウイルス感染症において、社員そしてステークホルダーの皆様を守るために、様々な対策を社内でも実施しています。

収束はいまだに見えていませんが、この対策を当たり前の習慣に変えて、会社の強靱性に繋げて参ります。

実施している対策

- 社員のマスク着用
- 毎朝の検温と健康状態の報告
- 出社・帰社時の手洗い・うがい・アルコール消毒の徹底
- 受付にアクリル板設置
- 事務所内の定期的な換気実施
- 事務所内のソーシャルディスタンス確保
- リモートワークの導入
- オンライン会議・商談等の実施
- 啓発ポスターの掲示
- 社員貸付制度の設立



03 人事ポリシーの改訂

2018年度より本格的な運用をスタートした「人財開発プログラム」は、人事ポリシーを「明朗に働く人」と定めて構築しました。運用2年目に起きた新型コロナウイルスによる社会の変化は、いわば「改革」と呼べるような大きな変化であり、今までの人事ポリシーではこの社会の変化に追いつくことができないと考えました。

そこで改めて定めた人事ポリシーは「強くたくましい人」で

す。大きな環境の変化や試練など、どんな時もどこでも社会に通用する人材として、改めて求める人材像を設定しました。また、個人の成長がチームそして会社の成長に繋がっていくと考えています。お互いを尊重しあい共に成長していく『共育』という観点で改めて育成プログラムを構築し、2020年度から運用をスタートしていきます。



01 安全衛生活動

2019年度から改めて安全衛生活動を強化しました。今年度は特にKY(危険予知)と作業におけるヒヤリハットといった予防措置活動に力を入れました。始業前にその日1日の作業内容を部門全員で確認し危険箇所を予測して注意喚起を行い、作業中に感じたヒヤリハットは、報告書に記録をとり、安全会議で改善策の協議と重要なものは一定期間掲示を行うことで毎日目に触れるようにしています。

今後も段階的に活動強化を図り、全社員の安全意識向上と労災ゼロ継続を目指していきます。



02 BCP(事業継続計画)の運用



2019年6月に当社の災害時事業継続計画(BCP)を発行し、有事の際に中核事業を早期復旧させ会社を守っていくための訓練や備蓄を整えていく1年となりました。年に1回の計画見直しの直前に起きた新型コロナウイルスの拡大を受けて、BCP発動には至ってありませんが、災害に対する社員の意識が向上していたおかげで事業を守るための対応をスムーズにとることができました。

今後は、想定災害に感染症を追加した上での訓練徹底と、ステークホルダーとの連携を含めたBCP強化を図っていきます。

04 働き方改革の推進



ワークライフバランスをより良いものに改善し、将来の展望を持って多様な人が働ける環境づくりを行うことが、当社の働き方改革だと考えています。その一番のテーマが「業務効率化」です。

2019年度は事務部門を中心に改革を進めました。環境事業での廃棄物管理システムと会計データシステム間の連携を行い同じ情報の入力作業を効率化したり、日報等の電子化で報告・連絡・相談をよりスピードを持ってできる環境を整備しました。この取組みを計画的に進めていったことで、新型コロナウイルスの拡大時にはスムーズにリモートワークも導入することができました。

マテリアルバランス

INPUT

■エネルギー

電気	19230 kWh
ガソリン	7481ℓ
軽油	79579ℓ
水	1012 m³

■建設資材

生コン	20.61 t
再生砕石	24.5 t
鉄筋	0.6 t
土砂	5.0 t
砕石	24.8 t
切り込み砕石	12.6 t

■受入廃棄物

産業廃棄物	1523.7 t
一般廃棄物	5619.4 t

建設
事業

環境
事業

地域
事業



OUTPUT

■CO₂排出量※1

174.49 t-CO₂

■一般廃棄物排出量

126 kg

■住宅関連施工件数

73件

■建設廃棄物

廃プラスチック類	7.4 t
木くず	17.6 t
金属くず	6.6 t
紙くず	1.2 t
がれき類	34.4 t
ガラスくず等	6.6 t
コンクリートくず	161.8 t
廃石綿等	2.6 t
混合廃棄物	1.2 t

■中間処理後廃棄物

発電燃料として再生	3437.4 t
堆肥へ再生	2986.5 t

リサイクル率※2 100%

リサイクル率※2 86.9%

■製品製造数

Kingにんにく	3.0 t
Kingにんにく・くろ	1900パック

※1: INPUT「エネルギー」使用におけるCO₂排出量を算定。(使用排出係数: 電気=0.000337t-CO₂/kWh、ガソリン=2.32t-CO₂/kℓ、軽油=2.58t-CO₂/kℓ)
 ※2: リサイクル率=サマールリサイクル量+マテリアルリサイクル量/総排出量

NOSAKA CONSTRUCTION CONCEPT

このまちのくらしを
もっとやさしく、うつくしく。

たおやかな川の流れと緑の風。
 自然と人が共生するこのまちで半世紀。
 私たちは地域と共に営みを続けてきました。

くらしの基本である家を建てる。
 草木をリサイクルして肥料やエネルギーに変える。
 野菜や果物を育てて収穫する。

毎日の生活に寄り添って、
 こうした良好な循環を広げることが
 私たち野坂建設の使命です。

まちの人々の笑顔のために、
 愛すべきこのふるさとをもっとやさしく、うつくしく。

人と地域をめぐる「ありがとう」が
 よりよい未来を創ります。

